

飛騨 福知山

(報告) Naka

◎山行期日：平成 30 年 2 月 14 日 (水) 晴れのち曇り

◎メンバー：Tsuka(L)、Naka、Yuujiinn+2 名

定年退職後郷里高山市に戻った知人が近くのを歩き、笠ヶ岳～槍ヶ岳～穂高岳～焼岳～乗鞍岳のパノラマ写真を送ってくれた。この角度からは観たことがなく、魅せられた。その後彼の山歩きをおさめた映画「飛騨近郊の山々へ」(制作・撮影古滝雅之)を「山岳映画サロンの夕べ」で鑑賞したときには、次の冬には登ろうという気になっていた。シリウスのなかで最も山を歩いているお一人の Tsuka さんに話すと、その近くの福地山 (1671.7m) に数年前に登った、いい山だ、写真を送る、行こうと、とんとん拍子に山行がまとまった。

前日は風が冷たく、天候が悪化する兆しのなかヴィーナスライン霧ヶ峰富士見台駐車場近くでスノーシュー・輪かんの足慣らし後、山小舎「山花開」で懇談し、泊まる。天気予報通り風が強く、降雪した。

翌朝雪は止み、風もおさまっている。7時半頃発つ。順調に走り、福地温泉へ。天気は今のところ快晴である。しかし予報では崩れる。登山口近くの方の車庫前に停めさせていただく。まことに有り難い。

10:45 発。標高差 600m 強であり、報告でも苦勞していない。すぐ登山道に入る。初めは、雪が想定より少なく、よく踏まれていると見えたが、すぐに人工林のなかのジグザグ路になると、踏み跡はなくなり、雪も次第に深くなる。

11:12 焼岳が大きく観える。雲が湧いてくる感じで、期待の眺望に間に合うかどうか心配になってくる。(焼岳が大きく観えた⇒)

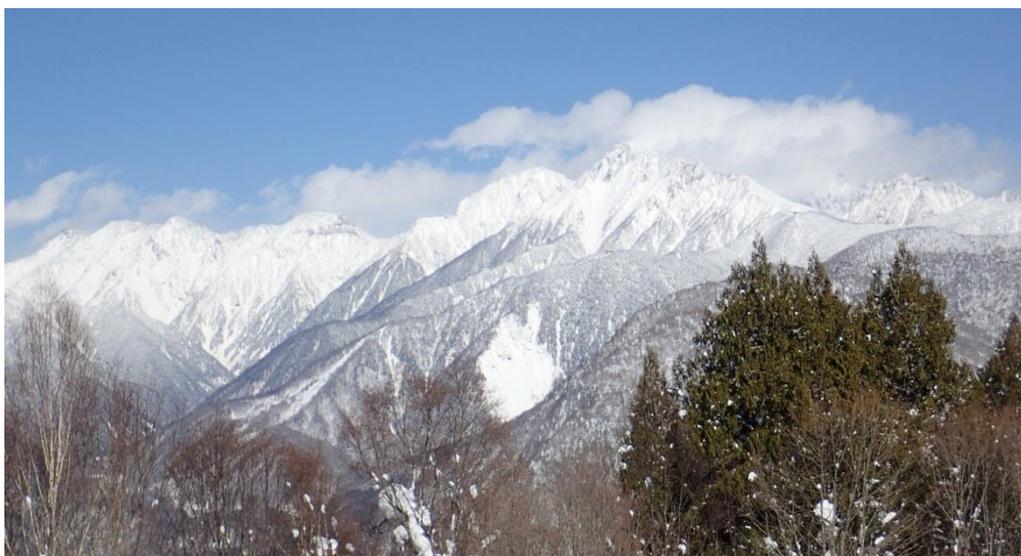


12:52 槍穂がしっかり観えるはずだが、槍の穂先がかすかに見えるだけ。気持ちは急ぎたいが、雪が膝下まであり、加えて靴の下、スノーシューの下に団子ができ、思うように進まない。廃車寸前の Naka ラッセル車も時には出動するが、ほとんどは高性能の Tsuka さんラッセル車が先導し、3人が遅れて続く。

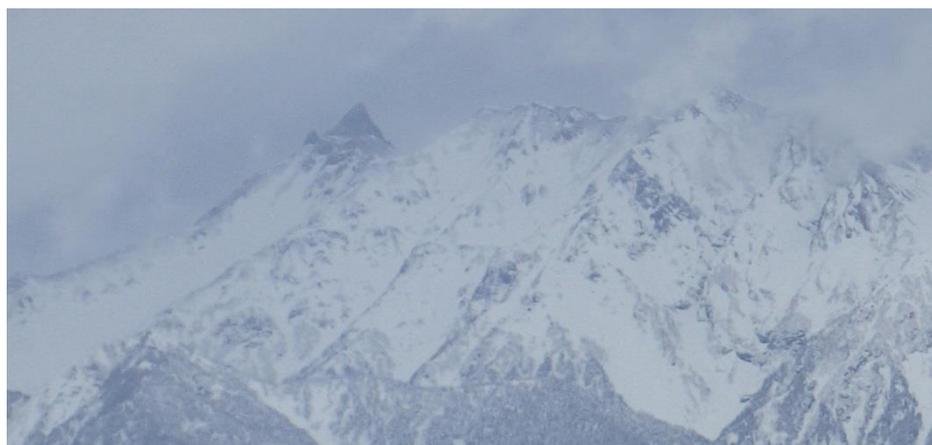


(槍の穂先が微かに見えるだけ)

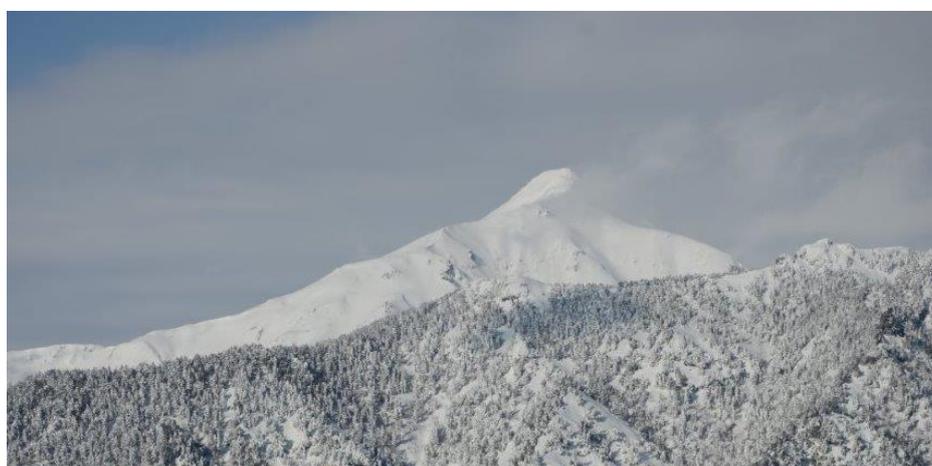
尾根道・谷道の分岐2ヶ所ではすべて尾根道を採る。福地山展望台の下で雲に隠されてしまう前に槍穂を撮るが、遅かった。



15 : 25 福地山(1671.7m)。心眼で見るとかすかに槍が観える。



笠ヶ岳が秀麗である (↓Tsuka さん撮影)。



雪に埋もれている山名の標識を掘り出して写真を撮り、遅い昼食をゆっくり摂り、天気が悪化するなか、結構に急な降りを急ぎ、17:25下山。久方に歩いてという感じである。帰り支度していると、照明に灯が入った。



夜道を慎重に走り、23時に戻る。

Tsukaさん、ラッセルに加え、運転でもご苦労をおかけしました。

事前に知人やTsukaさんに見せていただいた写真や映画の映像にまったく似ない眺望であった。帰宅後知人に問うと、高山は日本海側気候で1ヶ月に1回くらいしか機会はないとのこと。一見の客はもう一度訪ねよ、ということであろう。